

第三十一回帝國議會
衆議院

戶籍法改正法律案外三件

(明治三十八年法律第六十二號中改正法律案)
(明治四十三年法律第三十九號中改正法律案)

委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正三年二月二十八日午前十時四十六分開議

出席委員左ノ如シ

長島 鷲太郎君	麓 純義君	島田 俊雄君
鵜澤 總明君	熊谷 直太君	光森 德治君
早川 六三郎君	吉原 正隆君	荒川 五郎君
齋藤 隆夫君	野村 嘉六君	加瀬 禮逸君
大口 喜六君	工藤 吉次君	山谷 虎三君

出席政府委員左ノ如シ
司法次官法學博士 小山 溫君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
司法省參事官 山内確三郎君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

戶籍法改正法律案

○委員長(長島鷲太郎君) ソレデハ開會致シマス

○島田俊雄君 今日ハ此改正ノ各條項ニ付テ大要ノ御説明ヲ願フコトニ此間ナッテ居リマシテ、サウ願ヒタイノデアリマスガ、其御説明ノ前ニ一般ノコトニ付テモウ二件程極ク簡單ナ事柄ヲ御問シテ見タイト思ヒマスガ、ソレヲ御許シテ願ヒタイト思フ、ソレハ一ハ此現行法ニモ改正法ニモアリマスガ、職業ヲ記載スベキ場合ガ大分澤山ニ載ッテ居ルヤウデアリマス、此身分登記ニ於キマシテ戶籍關係ノ場合ニ、職業ト云フコトヲ記載スルノ必要ハ明瞭デアルヤウデアリマスガ、實ハ之ヲ突止メテハキリドウニ云フ譯デ特ニ職業ト云フモノヲ記載セバナラヌカト云フコトニ付テノ説明ヲ聞イタコトガナイノデアリマスカラ、此點ニ就テ私ハ一ツ聽キタイノト、ソレカラ職業ト云フコトガ能クアルガ、政府ニ於テハ私ノ實際知ッテ居ルところデハ、我國ニアル現在ノ職業ニ付テノ分類ト云フモノガ統一シテ居ラヌト考ヘテ居ル、衛生行政ニ付テハ衛生行政ノ取扱者ガ勝手ニ極メテ職業分類ガアル、ソレカラ其他ノ部面ニ付テハ犯罪ニ關係ノ行政官ガ特ニ取扱フ極メテ職業分類ガアルケレドモ、職業ノ分類ニ付テノ根本ノ方針ガマダ立ッテ居ラヌヤウデアル、然ルニイロ／＼ノ場合ニ身分ト云ヘバ直グ職業ト云フ風ニ職業ノ記載ガシテアリマスガ、是等ニ就テドウ云フヤウナ御考ヲ持テ居ルノデアリマスガ、統計局アタリニハヤハリ統計局ノ一種ノ職業分類ヲ以テヤッテ居ルヤウデアル、サウ云フ風デ非常ニ職業分類ノ統一ガ缺ケテ居ルヤウニ考ヘマスガ、茲ニ此法律ニ於テ、現行法モサウデアアルガ、改正法律案ニ於テモ職業ノ記載ヲヤレル場合ハ、職業ノ分類等ニ付テ一定ノ御見解ガ立ッテ居ルノカ、或ハ是レノ不統一ニナッテ居ル職業分類ヲ統一スルコトニ付テ

何等カノ希望若クハ計畫ヲ持ッテ居ラレルノデアルカ、即チ要スル第一ノ質問ハ職業記載ノ理由——記載セシムルコトノ理由、及職業ノ分類法ニ就テ一定ノ見解アリヤ否ヤト云フ點デアリマス、ソレカラ第二ノ點ハ此日本ノ現在ニ於テハ、御承知ノ如ク我國ノ人口ト云フモノハ、多クハ此戶籍ニ依テ人口報告ヲシテ居ルヤウデアリマス、然ルニ吾々ノ實驗シタル所ニ依ルト、戶籍ノ漏漏トカ、或ハ重複スルコト云フ弊害ノ爲ニ、實際ノ人口ト戶籍簿ニ調ベ上ゲラレテ報告セラレタル所ノ人口トノ間ニ非常ナ差ガアリ、先年東京市ノ人口調査ヲヤリマシタル時ニ、年々報告サレテ居ル東京市ノ人口トシテ二百萬人トシテアルノト、實際ノ人口調査トノ間ニ五十萬人以上ノ差ガアッタト云フコトハ御記憶デアラウト思ヒマス、斯ウ云フコトデ、此戶籍法ノ實施ニ依リマシテモ、ヤハリ裁判ノ手續ニ依テ確定スル必要カラ、其除籍就籍ト云フコトノ面倒ナコトガアル、當然ノ結果トシテサウ云フコトガ起ラウト思ヒマス、是ハ戶籍法ト直接ニ關係ノアル譯デハナイケレドモ、併ナガラ現行ノ我國ノ有様ニ於テハ戶籍簿ニアルノガ即チ日本人ノ正確ノ數ト云フコトニナル結果ヲ來シテ居リマス、ソレ等ノ點ニ付テモ決定メテ御研究ニナッテ居ルト思ヒマス、若シアレバソレ等ノ記載漏出ノ必要ナコト、其他漏出ト實際ト差ヲ生ズル模様ト戶籍簿ト、實際ノ人口トノ差ニ就テ救済方法ハ、如何ニシテ實際ノ人口ニ之ヲ近ツカシムルカト云フコトノ救済方法ニ付テ、何か政策上其他御考ガアルカ、固ヨリ一方ニ國勢調査ヲ行ハレルカラ、ソレ等ノ弊害ガ其方デ救フコトガ出來ルカモ知レヌガ、現在ノ狀態ハマダ國勢調査モ俄ニ行ハレサウニモナイカラ、今日ニ於テモ此戶籍簿ガ即チ日本ノ人口ノ五千萬乃至六千萬ノ人口ノ土臺ニナリマスカラ、ソレ等ノ一方ノ手續ヲ町重ニサレルコトヲ御研究ニナッテ居ルコト、思フガ、此戶籍法實施ニ依ル結果トシテ生ズル實際ノ人口ト、戶籍簿上ノ人口トノ差ニ就テ救済スル方法等ニ就テ御考ガアレバ其手續ヲ御聞シテ見タイ、此二點ニ就テ御説明ガ願ヘレバ仕合ナノデアリマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 此職業ノ點デゴザイマスガ、成程職業ハ戶籍身分ニ直接ニ且ツ密接ノ關係ヲ持ッテ居ル譯デハゴザイマセヌガ、職業ヲ記載致シマスレバ同姓同名ノ人モアルノデゴザイマスカラ、其異同ヲ判別スル一ツノ道ニモ用井ルコトガ出來ルノデゴザイマス、尙此所ニ職業ヲ入レマシタルハ、現行戶籍法ニモ職業ノ規定ガアリマスノト、又一面ニ於テハ此統計材料ノ爲メニ今日統計局デ統計材料ヲ得マスノハ、多ク戶籍ニ依テ統計ヲ作ッテ居ルノデゴザイマスカラ、ソコデ其便宜ノ爲メニモ戶籍其モノニハ身分職業ヲ入レシメンガ爲メニ此所ニ斯ウシテアリマス、ソレデ左程職業ヲ記載致シマシタル所ガサウ手數モ掛ラヌト云フコト、居書ニ職業ヲ記載セシムルコトスウ云フコトニ致シタル次第デアリマス、而シテ職業ノ分類ニ付テハ如何ナル標準ニ依ルカト言フト、是ハ今日各自ガ申出タモノヲ眞ナリト致シマシテ、其職業ニアルモノト認ムルノデゴザイマスガ、各自ガ之ヲ記載シテ來マスル標準ハ、ヤハリ世間普通ニ行ハレテ居リマスル所ニ依テ記載シテ來ルモノト思フノデス、而シテ其標準ト云フモノハ、多ク統計局デ取ッテ居リマス分類法ニ依ッテヤッテ居ル次第デアリマス、今日マデ統計局カラ戶籍役場ノ方ヘ注文

ヲシテ、此統計ノ爲メニ職業等ヲ知ルノニ就キマシテハ、斯ウ云フ戸表ト云フモノガゴザイマシテ、統計局テ豫メ之ヲ記入シテ貫ウト云フヤウナコトニナッテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ第二回ノ實際ノ數ト戸籍上ニ現レテ居ル數トハ常ニ一致シテ居ラナイト云フコトハ、成程サウノヤウデゴザイマス、去年ニ於テ東京市ノ市勢調査ヲ致シマシタ時ニモ、各家ニ就テ調査ヲ致シマシタ人數ト、帳簿上ニ現ハレテ居ル所ノ人數ニハ大ナル懸隔ヲ見マシタ、其懸隔ヲ見マシタ理由ハ、或ハ出テ他ノ市町村ニ居ル者ガ出寄留ヲセズ、或ハ入ッテ東京市ニ寄留シテ居ル者ガ寄留届ヲ爲サヌトカ、或ハ戸籍ノ方デ申シマシレバ除籍ヲシテ居ラヌ者モアリマセウケレドモ、或ハ副本籍ヲ持ッテ居ルト云フ所ガアリマスカラ、實際上ノ數字ト戸籍簿上ニ現ハレテ居ル數字ト不一致デアリマシタ、斯ウ云フ事柄ハ現行法ノ上ニ於テモ生ジマセウケレドモ、或ハ改正致シマシテモ或ハ生ズルデアリマセウ、生ズルデアリマセウケレドモ、ソレハ成ベク避ケシムル爲ニ、此職權抹消ノ規定ヲ置キマシテゴザイマスカラ、戸籍吏ニ於キマシテ最早死亡シテ居ルカラ戸籍ヲ抹消シテモ宜イト認メタナラバ、職權ニ依テ抹消スルコトモ出來マスカラ、追々其數ノ懸隔ノアルト云フコトハ矯正ガ出來ヤウトモ認メテ居リマス

○委員長(長島鷲太郎君) 議事ノ進行ニ就テ御諮リシテ置キマス、隨分此戸籍法ハ非常ニ面倒ナ細カイ點ガ幾ラモアリマスカラ、政府委員ノ外ニ尙山内參事官ガ實際ノ手續ヲヤッテ居ラレマスカラ、政府委員ノ述ベラレコトニ山内君カラ補足スルコトハ、政府委員カラ御陳述ニナツタモノト致シマスカラ、ドウカ……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(長島鷲太郎君) ソレデハ山内君ノ述ベルコトハ政府委員ノ鈴木サンノ御答ニナツタモノト速記録ノ中ニ致シテ置キマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 私ハ許可ヲ得テ居リマス

○委員長(長島鷲太郎君) ソレデハ宜シウゴザイマス

○島田俊雄君 モウ少シ今ノヲ繰返シテチヨット御問シテ置キタイと思ヒマスガ、唯今ノ御話デゴザイマス、職業ノ記載ノ必要ト云フコトハ御説明通りニ解釋シテ議論ハ致シマセヌガ、私が御問シタイノハ——職業ノ種類ニ就テ御問シタイノハ、此分類法ニ就テノ統一ガ出來テ居ラヌト云フコトヲ申シマシタ、統計局ノ方デ此實際報告セラレタ職業ヲ如何ニ分類シテ居ルカ、統計局デヤッテ居ルサウデゴザイマスガ、ソレハ私ノ手續デ統計局デ唯ヤッテ居ル譯デ、マデ是ガ政府ノ定メタル公ノ職業分類ノ方法トシテ分類ト云フモノガ直接定マッテ居ラヌヤウニ考ヘテ居リマスガ、最近ニ於テ統計局ハ分類法ト云フモノヲ定メラレタカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 一定ノ標準ト云フモノハマダ定ッテ居リマセヌ

○島田俊雄君 ソレガ私ハ非常ニ困ル結果ヲ來タシハセヌカと思フ、ナルホド職業ヲ統計材料トシテ調べルハ必要デアリマスガ、職業ガ統計ノ材料トシテ必要デアルト云フ効力ヲ現ハスノハ、分類ガ一定シテ始メテ効力ヲ現ハスノデアル、其分類ガ極ッテ居ラヌデ、根本デナイイロノ職業ヲ調べテ曖昧ノモノヲ舉ゲタトコロ、ソレハ信憑スルニ足ラヌト思フ、是等ニ付テハ別段今ノ御答辯ニ依ッテ格段ナル現在ニ於テ御計畫モナイト云フヤ

ウニ聽取リマシタカラ、其上ハ申シマセヌガ、職業ヲ唯報告シタトコロ、分類シタトコロノ一定シタモノガナケレバ、統計ノ効力ハ私ハ少ナイノデアルト思フデアリマスガ、其上ハ議論ニナリマスカラ申シマセヌ

○麗純義君 私ハ大體ニ付テ少シク御尋ラシテ置キタイ、普通ノ戸籍ノ届出ニハ年齡トカ職業族稱ト云フコトヲ現行法デハ是非書クコトニナッテ居リ、又改正案ハ職業年齡ハ書クコトニナッテ居ルガ、族稱ハ廢セラレテ居ル、トコロガ戸籍ニハヤハリ此族稱ト云フコトヲ記載スルコトヲ平民タケハ除カシテアルガ、華士族ハヤハリ其族稱ヲ記載スルコトニナッテ、平民ハ全然此改正ニハ記載セヌコトニナッテ居ルガ、ソコデ明治七年ノ太政官ノ七十三號ノ布告ニ、自分華士族分家ノモノハ平民籍ニ編入スルト云フ此布告ノ點デアリマス、私ナドハ此布告ハ法律トシテ今日未ダ効力ノアルモノト信ジテ居リマス、政府委員ニ於テモサウ信ジテ居ラレニ相違アリマセヌガ、此布告ガ沖繩縣ニ施行ニナッテ居ルカドウカト云フ問題デアリマス、此布告ハ私ノ考デハ沖繩縣ニハ施行シテ居ラヌヤウニ思フ、ト云フノハ士族ガ分家シテモヤハリ士族ト云フコトニ今取扱ッテ居ル、現今此布告ガ沖繩縣ニ於テ施行サレテ居ナイトスレバ、無論是ハ議論ノナイ譯デアリマスガ、施行ニナッテ居ルトスルト如何ナモノデアルカ、政府ハ沖繩縣ト内地一般ト法律ノ統一ヲサル、御意見ハアリマセヌカ、一應族稱ニ關係ガアリマスカラ伺ッテ見タイと思ヒマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 唯今御述ベニナツタ法則ガ沖繩縣ニ實施サレテ居ルヤ否ヤ、其實際ニ於テハ實施サレヌト云フ御話デアリマシテ、其適用シナイノハ相當デアルヤ否ヤト云フコトハ今調査シテ居リマセヌガ、此族籍ノコトヲ居書ニ書カナイト云フコトハナイノデアリマシテ、若モ戸籍ニ記載スベキ場合ニ、華士族ト云フコトヲ表示スル必要ガアレバ無論居書ニソレヲ記載シナケレバナラヌ、ソレハ詰リ五十四條ヲ補ッテ居ルガ、唯平民ノ族籍ヲ有シテ居ル者、其族稱ヲ記載シナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 先キニ島田サンノ御質問ノ職業問題デ、統計トノ關係デアリマスガ、實ハ此前ノ案デハ職業ト云フコトハ戸籍ニハ届出サセナイ、戸籍ニ書イテモ必要ガナイカラ書クベキ筋合デナイカラ、職業ノ關係ハ現行法ノ中カラ除イタノデアリマス、然ルニ統計局ノ方カラ死亡、出生、婚姻、離婚、此四ノモノニ付テハ、職業ハ統計上必要デアルカラ、其統計ハ身分登記ニ依ッテ之ヲ取ッテ居ッタデアリマス、然ルニ身分登記ヲ廢セラレルト云フコトニナルト、チヨット此統計ヲ取ルノニ困ルノデ、戸籍ニハ勿論現行法ニハ記載ハナイガ、居書ヲ利用シテ職業ノ統計ヲ取ラウト云フコトノ相談ヲシタデアリマス、而シテ其統計ヲ取ルノニ、從前ノ身分登記デアルト、出生ハ出生デ纏メ、死亡ハ死亡デ、婚姻ハ婚姻、離婚ハ離婚ト別冊ニ纏メテアルカラ非常ニ宜イガ、居書ニ依ルト番號ガ其種類ニ依ッテ順序ヲ追フコトガ出來ナイノデ、統計上困ルト云フコトカライロノ講究シテ、居書ヲ如何ニシテ利用スルカニ付キ大體ノ腹案ハ番號等ニ付テ細則ヲ作ラウト云フ相談ヲシテ、其時統計局長カラモ職業ノ話ガ出テ、居書書イタモノニ依ルトシテモ、其關係モ然ルベク此統計ノコトヲ定メルニハ、モウ少シハッキリシヤウト云フ話モアッテ、此職業ニ付テハ何レ此法律實施ノ際ニ統計局ト交渉シテ、或ハ内閣カラ命令デ出ルカ、司法省カラ出ルカ、何レニシテモ詰リ或方法ヲ講ズルト云フコトニナッ

テ居リマス、殊ニ今日島田サンカラ御話が出タ以上ニハ、尙其細則ヲ作ル時ニ統計局長ト交渉スル機會ガアルト思ヒマスカラ、御參考マデニ申シテ置キマス

○島田俊雄君 唯今山内君ノ御説明ヲ聽イテ或程度マデハ了解シマシタガ、此處ハマダ議論ヲスル場合デナイノデ議論ハ致シマセヌガ、私ハソナ姑息ナコトヲスルノハ宜クナイト云フ考ヲ有ツテ居ル、ト云フモノハ統計局ガ統計表ヲ作ル材料トシテノ職業ヲ得タイト云フナラバ、少クモ統計ノ材料トシテ必要ナラバ、職業ニ付テモ本業副業ノ區別モアリ、或ハ副業ニシテモ二種類モ三種類モアルカラ、其場合ニハソレ等ヲ皆報告サセルカ、或ハ其中ノ主タルモノニ極メルカ、其標準ヲ定メナケレバナラヌト思フ、唯宜イ加減ノモノヲ經メテ、統計ノ材料トシテ公ニ之ヲ發表スルト云フヤリ方ハ姑息デアツテ、誤解ヲ招クカ、間違ヲ來タス本ニナルト云フ考ヲ有ツテ居リマスノデ、今ノ質問ヲシタ次第デアリマスガ、唯今ノ御話デアリマス尙多少ノ手段ヲ之ニ付テ講ズルト云フ御話デアリマスカラ、其手段ニ付テノ御話ヲモウ少シ承ツタ上デナケレバ判斷ハ出來マセヌガ、全體カラ考ヘテ此特ニ職業ノ報告ヲサセル、届出デヲサセルト云フコトハ、ドウモ勞多クシテ效ガナイト云フ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、是ハ政府委員ノ御方ノ御參考マデニ申上ゲテ置キマス

○齋藤隆夫君 大體ノ質問ハモウ終ルヤウデアリマスガ、私ハ是マデ一言モ質問シナカッタノデ、チヨット折入ッテ參考ノタメニチヨット政府委員ニ御尋シテ置キタイ、ソレハ現行ノ戸籍法ガ非常ニ繁雜ニシテ、無益ノ手數ヲ要スルコトガアルカラ之ヲ改正スル——改正セラル、ト云フコトニ付テハ私モ非常ニ賛成デスガ、政府ガ現行戸籍法ノ此缺點ヲ自覺セラレタノハツイ頃ノコトデアッテ、ソレカラシテ此法案ヲ制定スルガタメニ着手セラレタノハイツ頃ノコトデアルカト云フコトハ、ソレカラシテドウ云フヤウナ方法ニ依ツテ此法案ヲ組立テラレタデアルカ、全國ノ各地ノ戸籍役場ナドカラシテ幾ラカ參考ニナルヤウナ材料ヲ取ラレタノデアルカト云フコトヲチヨット御尋シテ置キタイ、ソレカラシテ現行ノ戸籍法ガ十數年ノ間行ハレテ居ッテ、其戸籍法ニ身分登記ナド云フ非常ナ厄介ナ經費ノ多イ、殆ド無益ナ事業ガ加ッテ居ッタガタメニ、ソレヲ廢メテ此法律ヲ作ラレルト云フノデアリマスガ、是カラシテ先ニモウ此法律ヲ改正セラル、ヤウナコトノナイコトヲ私等ハ希望スルノデアリマス、先日ノ政府委員ノ御話ニ依ツテモ、十數年間ヤッテ居ッタ身分登記簿ト云フモノハ全ク無益ナモノデアッテ、サウスルト十數年間ノ間政府ハ無益ナ手續ヲ戸籍役場デシ、又無益ノ費用ヲ掛ケテ居ッタト云フコトニナルノデスガ、斯ウ云フコトガアッテハ國家經濟上ノ上カラ言フテモ、又其外ノ行政事務ヲ地方ノ團體ガ取扱フ上ニ於テモ、甚ダ悲シムベキモノデアリマスカラシテ、將來ハ此戸籍法ヲ永久ニ改正シナイト云フヤウナ御確信ガアルノデアルカ、又其根本的ノ改正ヲセスト雖ドモ、此條文ニ或ルモノモ餘程御注意ヲセラレテ、時々改正ヲ要求セラル、ト云フヤウナコトハナイマデニ十分審査ヲセラレタノデアルカト云フコトヲチヨット御尋シテ置キタイノデアリマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 政府ガ現行戸籍法ニ付キマシテ缺點アルト云フコトヲ認メマシタノハ數年前デゴザイマシテ、現行法ノ改正ヲ企テマシタノハ三年以前デアリマス、爾來其局ニ當ル所長等ノ意見ヲ徵シマシテ、意見ノアル者ハ申出シムルト云フコトニ致シマシテ、ソレ等申出アルモノニ付テハ參考トシテ案ヲ起シマシテ、而シテ

法律取調委員會ニ掛ケマシテ今日ノ案ヲ見ルニ至ツタ次第デアリマス、唯今政府ノ見ルトコロニ於キマシテハ、此改正ヲ致シマスレバ、實體法ノ改正ノナイ限リニ於テハ、今日ノ場合ニ於テハ更ニ之ヲ數年ノ後ニ改正スル必要アルコトハ認メマセヌ

○委員長(長島鸞太郎君) ソレデハ大體質問ガ了ヘマシタカラ、逐條ニ付テ——各條ニ付テノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 各條ニ付テ……

○委員長(長島鸞太郎君) 各條ト云ツテモ章ニ分ツテ居リマスカラ、各章ニ付テ大體ノ御説明ヲ願フナラバ宜カラウト思ヒマス、一章毎ニ……

(「各章ノ改正ニナツタ點ヲ述ベテ戴キタイ」ト呼フ者アリ)

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 宜シウゴザイマス、改正ヲ致シマシタル重モナル點ハ、御手許ニ出シマシタ此對照條文ニ付テ御覽下サリマスレバ其一斑ガ分カラウト思ヒマス、先ツ第一條ニ付キマシテ先日來申上ゲマシタル通り、戸籍吏ト云フモノヲ改メマシテ市町村長ニ致シマシテ、市町村長ヲシテ戸籍ノ事務ヲ取扱ハシムルト云フコトニ第一條デ改メタノデアリマス、其結果戸籍役場ト云フ名稱ヲ廢シマシテ、即チ市町村長ノ事務ヲ取扱フ所ハ市町村役場デゴザイマスカラ、此戸籍役場ト云フ名稱ヲ削ツタ次第デゴザイマス、ソレカラ第八條ニ至リマシテ、此第八條ハ現行法ノ二百十七條ニ該當スルノデゴザイマス、此點ニ付テ少シク改正ヲ加ヘマシタ、現行法ニ二百十七條ニ依リマスルト云フト、國庫カラシテ戸籍役場ノ經費ヲ支辨スル地ニ於テハ、收入シタル手數料ハ國家ノ所得トスルト云フ規定ガアッタノデアリマスガ、本法ニ於キマシテハ之ヲ削除致シマシタ、此點ニ付キマシテハ内務當局トモ交渉ヲ重ネマシテ、別段國庫カラ補助スルニシタ所ガ僅カノモノデアアルカラシテ、ソレヲ政府ヘ——國庫ヘ取上ゲルト云フ 必要モナイカラシテ、別段二百十七條ノ但書ノ如キモノヲ置ク必要ガナイト云フコトデゴザイマスカラ、一切收入ハ市町村ノモノトスルト云フコトニ定メタノデアリマス、其他此章ニ於キマシテ多少條文ノ入換ヘヲ爲シ、或ハ文字ヲ改正致シマシタ點モアリマスガ、其趣意ニ於キマシテハ異ナルコトハナイノデアリマス、尙御質問ガゴザイマスレバ御答致シマス

○麓純義君 我ハ第四條ノ市町村長ノ職務執行ニ付テ他人ニ損害ヲ與ヘタ其損害ノ性質ガ、民法ノ不法行為ト如何ナル關係ヲ有シテ居ルカ、市町村長トシテ損害ヲ賠償スルノデアルカ、個人トシテ賠償スルノデアルカ、是デハ市町村長トシテノヤウニアリマスケレドモ、一般ノ行政上ノ職務ヲ執ッテ居ル者ガ不法行為ヲ爲シタ場合ニ、民法ノ不法行為ヲ爲シタ場合ハ法條ノナイ限リ責任ノナイコトニ今日ハナッテ居リマスルノデアリマスカラ、唯民法上ノ不法行為トシテ一私人トシテ責任ヲ盡スノデアルカ、町村ガ總テ其責任ヲ盡スノデアルカト云フコトヲチヨット御尋シテ置キタイノデアリマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 是ハ御議論モゴザイマセウガ、現行不動産登記法第十三條ノ趣意ト同ジク、又現行法ニモ——現行戸籍法ニモ斯ル條文ガアルノデゴザイマシテ、ソレヲ襲踏シ來ツテ茲ニ規定シタ譯デゴザイマスル、デ御尋ノ御趣意ト致シマシテハヤリ市町村ノ負擔デゴザイマセヌデ、市町村長タル其人ノ一個人ノ負擔トシテ賠償責任ノアルト云フ趣意ト御承知ヲ願ヒマス

○齋藤隆夫君 唯今政府委員ノ御答辯ニ付テ少シ疑ヲ起シマシタガ、固ヨリ此市町

村長ノ職務ハ、雇人ガ雇主ニ代テ仕事ヲスルノトハ關係ガ違フデアリマス、併ナガラ或ル私法上ノ關係ハヤハリ市町村長ノ場合ニ準用スルコトガ至當デハナイカト思フ、兎ニ角市町村長ガ一ノ自治團體ノ機關ニ於テ、其公人ノ職務ヲ行フニ當テ、他人ニ損害ヲ加ヘタト云フ場合デアリマスカラ、之ハ個人トシテノ損害デナクシテ、公人トシテ損害ヲ加ヘタト云フコトニナルカラ、此損害ノ責任ハ個人タル市町村長ガ負ハズシテ、公法人タル市町村其自身ヲ負擔セシムル方ガ損害賠償ノ權利ヲ確保スル上ニ於テモ効力ノアルコトデアル、又理論上ニ於テモ相當デアルト認メマスガ、政府委員ノ御意見ハ如何デアリマスガ、若シ之ヲ個人タル市町村長ニ負ハセルコトニナルト、吾々ノ豫想スル所ニ依レバ、此損害賠償ノ義務ハ縱令義務デアツテモ、實際效果ヲ現ハスコトガ甚ダ薄弱デハナイカト思フ、故ニ之ハ公法人タル市町村長ノ義務ニスルコトハ出來ナイモデアリマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 便宜上私カラ此四條ノ關係ヲ御話シタイト思ヒマス、唯今ノ個人トシテノ賠償、官吏トシテノ賠償、責任、或ハ國家團體ノ賠償責任ト云フコトニ付テハ、今日懸案ニナツテ居リマス、實ハ戶籍法ノ討議ニ於テ、賠償責任ノ問題ニ付テハ個人的賠償ニスルカ、公法人トシテノ賠償責任ニ規定スルノ必要デアルカト云フ議論モ起ツデアリマス、併ナガラ之ハ戶籍法ノ問題デナクシテ、寧ロ戶籍法ハ簡略デアリマスガ、他ノ事ニ付テ非常ニ重大ナ場合ガ起ラウ、サウ云フコトハ一般ニ付テ研究スル必要ガアラウト云フノデ、戶籍法ノ中ニハ置カナイコトニ案ガ定マツテ居リマス、サウシテ四條ハ之ハ市町村長ガ個人トシテノ賠償責任デ、若シ民法ノ規定ニ依ルト、苟クモ過失ガアレバ其過失ニ付テ不法行為ノ損害賠償ノ責任ト云フモノガ定マツテ居リマス、併ナガラ市町村長ノ職務ヲ行フニ付テ爲シタ行為ト云フモノハ、多數ノ場合ニ於テ個人行為トハ言ヘナイケレドモ、故意ヲ以テ或ル不法行為ヲスル、例ヘバ届出ガアルノニ虚偽ノ記載ヲスル、届出ヲ受理シテモ極端ニ言フト戶籍ヲ破ツタト云フヤウナ不法行為ヲ爲スモノハ、市町村長ノ必要トシテノ行為デハナイ、權限ニ全ク關係ガナイ、ソレハ民法ニ於ケル重大ナル過失ト云フ行為ト同様ニ見テ居ルノデアル、此ニツノ行為——茲ニ行爲ト云フノハ重大ナル過失ニ依ル不法行為ト云フモノハ、之ヲ市町村長トシテノ資格ニ於テ責任ヲ負ハセルト云フコトニセズニ、民法上ノ責任ヲ負ハセルト云フコトデケデ、此四條ノ規定ハ其以外ニ市町村長ガ如何ナル責任ヲ負フカ否ヤト云フコトハ、今日ノ懸案トシテ戶籍法ノ中ニハ規定シナイト云フ程度ニ止メテアリマス

○島田俊雄君 議事ノ進行ニ付テ一言——唯今ノヤウナリ方デハナカノ仕方ガナイト思フ、ソレ故一應此各條ニ付テ今爲スツヤウニ政府委員カラ總體ノ説明ヲ聞イテ、ソレカラ質問ヲシ議論ヲスルヤウニヤリタイ、一條毎ニ今ノヤウニナツテハ限リガナイト思ヒマス

○齋藤隆夫君 私ハヤハリ一條ニヤツタ方ガ宜カラウト思フ、之ヲ一條カラ百何條マデ一遍ニヤラセテ、ナカノ記憶モ出來ヌシ、質問ノ順序モ餘程錯雜シヤウト思ヒマス

○委員長(長島鷲太郎君) 島田君ニ御相談シマスガ、如何デスカ……

○島田俊雄君 ソレナラ撤回致シマス

○齋藤隆夫君 唯今政府委員ノ御答辯中、市町村長ガ個人トシテ責任ヲ負フ

カ、公法人トシテ責任ヲ負フカト云フコトハ、政府ノ方ニイロノ議論ガアツテ、一致シナイト云フコトデアリマスカラ、此點ニ付テハ私モ更ニ考ヘマシテ又質問スルコトガアルカモ知レマセヌガ、私ハ是デケニ止メテ置キマス

○熊谷直太君 四條ニ關聯シテ御聞キシマスガ、職務ノ執行ニ付テハ民法上ノ責任デアルト仰シヤイマスガ、損害ヲ與ヘタ場合ニ於テ、故意又ハ重大ナル過失ト云フノハドウ云フ場合デアリマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ多クアラウト思ヒマスガ、唯今申シマス通り故意又ハ重大ナル過失ニ依テ、届出タモノヲ届出ザルガ如クシタ、取扱フ遅クシタト云フコトデ一時罰セラルコトモアル、其罰ガ後ニイロノ手續ニ依ツテ改メラレルコトガアリマシテモ、ソレガ爲ニ或ル場合ニ於テハ職業ニ就クコトガ出來ナカツタ、例ヘバ學校ヘ入リ損ナツタカ云フヤウナ事實ヲ舉ゲレバイロノ起ツテ來ルデアリマス、一々申上ケルコトハ至難デアリマスガ、例ヘバソレナモノデアラウト思ヒマス、ソレカラ尙附加ヘマスレバ、執行行為デナイ、即チ執行スルニ惡イ事ヲシテ届出人ニ損害ヲ與ヘタト云フコトモアリマス

○熊谷直太君 執行ニ付テ故意又ハ重大ナル過失ニ依ツテ損害ヲ與ヘルト云フ場合ハ……

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 故意デ重大ナル過失ヲスル執行行為ハナイカラ届出ヲ受ケソレニ付テ職務行為ヲ爲スニ際シテ、不法行為ヲ爲シタ場合ハサウ云フコトニナリマス

○荒川五郎君 國費ヲ以テ戶籍役場ノ經費ヲ支辨スルト云フ費用ノ話シガアリマシタガ、今マデハ其國費ハドノ位アリマシタカ、分ツテ居リマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 其數量ハチヨット此處ニ持テ合ハセテ居リマセヌガ、小笠原島等ノ役場ニ支給シタサウデアリマス、額ハチヨット今ハ分リマセヌ

○齋藤隆夫君 此第四條ニ付テハ現在ノ程度ニ止メテ置クト申シマシタガ、今ノ政府委員ノ御説明ヲ聽イテ尙ホ伺ヒマスガ、市町村長ガ其職務ヲ執行スル場合ニ、故意又ハ重大ナル過失アル場合ニ於テハ、是ハ其職務ガ町村長タル公人トシテニアラズシテ、一個人トシテノ行為デアルカラ、公法人ガ其責任ヲ負フベキモノデナイト云フヤウナ御説明ト承リマシタガ、サウスルト此條文ハ無益ト思ハレマス、何故ナラバ苟モ個人ノ行為トシテ之ヲ賠償スルト云フコトハ民法ノ方ニ條文ガアリマスカラ、是ハ必要ハナイト思ヒマス、之ヲ特ニ置キマスノハ、或ル職業ノ執行ニ付テ其職務ト牽聯シテ居ル、市町村長ハ公人トシテ認メナイナラバ、此必要ハナイト思ヒマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 私ハ先程申シマシタノハ成ル程言葉ガ足ラヌカツタカモ知ラヌガ、故意又ハ重大ナル過失ニ依テナシタ所ノ行為ハ職務行為デナイト申シマシタノハ、勿論市町村長ガ職務ヲ執行スル際ニテナシタモノデナケレバナラヌデアリマス、戶籍事務ヲ取扱フニ當ツテ取扱フト云フヤウナコトハ、職務ヲ取扱フニ當ツテ故意又ハ重大ナル過失ヲシ出來カシタト云フヤウナ場合……

○齋藤隆夫君 其區別ガ甚ダ判然致シマセヌ、更ニ言葉ヲ換ヘテ御尋ネ致シマスガ、サウスルト云フト、故意又ハ重大ナル過失ニ依リ市町村長ノ行為ノ或事ヲバ政府委員ハ

認メテ居リマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハゴザイマセヌ

○齋藤隆夫君 サウスト故意又ハ重大ノ過失ニ依ル行爲ハ、個人ノ行爲デアルト云フデアリマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 責任ノ歸スル處ハ個人トシテ歸セシメル

○齋藤隆夫君 サウストヤハリ普通ノ民法上ノ責任デアッテ、特ニ此條文ヲ置カレル必要ハナト思ヒマス、何故カト云フト、官吏ハ職務ヲ執行スルニ當ッテ故意又ハ重大ノ過失ニ依ッテ行爲ハ、官吏ノ行爲トシテハ認メヌ、即チ官吏タル資格ヲ以テノ行爲デアクシテ、個人タル資格ヲ以テナシタル行爲デアラカデ、何トナレバ官吏ハ他人ニ損害ヲ加ヘルト云フ職務權限ハゴザイマセヌカラシテ、サウ云フ場合ニ於テノ處分ハ職務以外ノ行爲デアルト云フコトニナレバ、個人ノ行爲トナリマスガ、是ハ普通ノ民法ノ支配スベキモノデ、特ニ此條文ヲ置カレル必要ハナト思ヒマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 尙ホ申上デマスガ、官吏ハ職務ヲ行フニ付テ故意デ惡イコトヲシタリ、重大ナル過失デ惡イ事ヲスルト云フコトガ、官吏トシテ職務權限デアイコトハ明ラカデアル、市町村長デモ市町村長トシテ戶籍事務ヲ取扱フニ當ッテ、其職務ヲ行フニ付テ故意ヲ以テ不正行爲ヲスルト云フコトハ、權限デアイコトデアリマス、私ノ申シマスコトハ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、市町村長ガ故意ヲ以テ或ル事ヲシテモ宜イト云フ職務權限ハナト申シマスデアリマス

○光森徳治君 私ハ第四條ノ解釋ハ、官吏ハ職務ニ依ル責任ハ負ハヌトアリマシテ、市町村長ハ官吏ニ準ズトアリマスガ、戶籍ニハ此規定ガナイカラ、此規定ヲ設ケテ居ッダト思ヒマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 左様デゴザイマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 附ケ加ヘテ置キマスガ、四條ニ於テ故意又ハ重大ノ過失ニ依リテ生シタル場合云々ト致シマスノハ、此外ノ普通ノ場合ノ損害賠償ハ普通通ノ職務權限内ヲ超ヘテアルカドウカハ一ツノ問題デアリマスガ、ソレデ果シテ此四條ニ於テ故意又ハ重大ノ過失ニ依ッテ市町村長ノ行爲ヲ個人トシテ責任ヲ負ハシテ宜カラウ、併ナカラ普通ノ過失ニ付テモ職務行爲ニ入ル場合デアレバ、之ニ付テハ責任ヲ負ハセナト云フノガ是ガ四條ノ趣意デ、重大ナル過失ガアッタラバ個人トシテ責任ヲ負ハシテモ宜イガ、ソレガ果シテ個人ノ行爲ナルヤ市町村長ノ行爲ナルヤ否ヤハ問題デアルト思ヒマスケレドモ、要スルニ重大ナ過失ノ場合ニハ公人トシテ責任ヲ負ハヌ積リテ書イタ規定デアリマスガ、是ハムヅカシイ問題ト思ヒマス、要スルニ市町村長ガ戶籍事務ヲ扱フニ付テ故意又ハ重大ノ過失ノアッタ場合ハ、個人トシテ責任ヲ負ハセルノデ、通常ノ場合ニ於テハ責任ガナト云フコトヲ明カニシマスデアリマス

○齋藤隆夫君 四條ニ付テ私ハ司法大臣ノ意見ヲ確メテ置キタイコトガゴザイマスカラ、是ハ留保シテ置キマス

○委員長(長島鷲太郎君) 私モ質問致シマス、第八條デスガ、第八條ノ現行法ト違フ點ノ手數料ノ額、之ニ付テ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 手數料ノ額ヲ定メマスノハ、人民ノ負擔ニ

ナルコトデアラカラ、命令ヨリハ勅令ニヨルベキ性質ノモノデアルト云フトコロカラ、勅令ト云フコトニ直シタルデアリマス

○委員長(長島鷲太郎君) モウ一ツ第四條デスガ、先程政府委員ノ齋藤君ニ對スル御答辯ニ依ルト、一體今度ノ戶籍法ガ通過スレバ、數年間何等ノ修正ヲ加ヘヌト云フ御答辯デアッテ、更ニ齋藤君ノ質問ガアッテ、ソレニ對スル答辯ニ依ルト、市町村團體ガ賠償ノ責任ヲ保證スルカ、或ハ國ガ賠償責任ヲ保證スルカト云フ場合ハ今ヤ改定中デアル、ソレハ別段ノ規定ヲ設ケルト云フトデアリマスガ、スルト其場合ニハ第四條ニハ何等ノ改正ヲ加ヘテ御考デアリマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 他ノ法律ノ改廢ニ依リマシテ本法ニ影響ヲ及ボスモノデアレバ、無論改廢シナケレバナラヌト思ヒマス

○委員長(長島鷲太郎君) 第二章ニ移リマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 一章デ申シマスコトハ十一條デゴザイマシテ、此十一條ハ現行法ノ百七十二條デゴザイマス、即チ保存ノ場所ガ變ルノデ、現行法ニ於テハ戶籍ノ副本ハ地方裁判所デ保存スルト云フコトニナッテ居リマスノヲ、今度ハ區裁判所デ保存セシムルト云フコトニ改メマシテ、是ハ御承知ノ通り區裁判所ノ方が數が多クゴザイマスカラ、區裁判所ノ方ヘ分ケテ保存サセタ方ガ便利デアラウト云フノデ斯様ニ改メタルデアリマス、ソレカラ十四條デゴザイマスガ、是ハ正誤ガ廻ッテ居ル答デアリマスガ、此一項二項三項「此場合ニ於テハ」ト云フノハ四項ニナッテ居リマスケレドモ、是ハ二項ノ續デアリマスカラ左様御承知ヲ乞ヒマス、次ハ十七條デゴザイマス、此十七條ハ新設條文デゴザイマシテ、今度ハ十六條ニ於キマシテ戶籍簿カラ除キマシタモノヲ別ニ編綴致シマシテ、名ケテ除籍簿トスルコトヲ致シマシタ、隨ッテ此除籍簿ト云フモノモ、除籍ハ致シマシテモ後ニ於テ必要ヲ見ルコトガアルカラシテ無闇ニ外ヘ出スト云フコトモイケナイ、ソレカラシテ除籍簿モ閱覽ノ必要モアラウト云フコトデ、此十七條ガ設ケラレマシタ、モウ一ツハ未ダ除籍簿デナイ、除カレタル戶籍ニ之ニ準用ス——各家ノ戶籍ト云フモノヲ見ルコトモアルシ、或ハ除カレタル各家ノ戶籍ノ謄本抄本ノ交付ヲ要求スル場合モアリマセウカラ、ソコデ十七條ヲ新設シテ、十二條乃至十五條ヲ準用スルト云フコトノ規定ヲ置イタ次第デアリマス

○齋藤隆夫君 チョット詰ラヌコトデスガ、文章ヲ見テハ分ラヌコトガアリマスカラ伺ヒマスガ、ソレハ十條ノ二項デス、一ツ例ヲ舉ゲテ御説明ヲ願ッテ置キタイデス、私ニハ分リマセヌ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 十條ノ二項ハ「一ノ市町村内ニ各別ニ地番號ヲ附シタル二箇以上ノ區畫アル場合ニ於テハ其區畫ノ順序ハ市町村長之ヲ定ム」例ヘバ麴町一丁目一番地、麴町二丁目一番地、斯ウ云フヤウナ同ジ區畫ニ於キマシテ、市町村内ニ於キマシテ番號ガ同ジ番號ヲ持ッテ居ルヤウナコトガゴザイマスカラ、サウ云フトキニハ町村長ガ麴町一丁目一番地ヲ先ニスルトカ、麴町二丁目一番地ヲ先ニスルトカ、市町村長ガ之ヲ定メルト云フノデス

○石黑磐君 戶籍簿ヲ外ヘ持出スコトハ出來ナト云フ此十三條ハ、是ハ舊法トハ違フヤウニ思ヒマスガ、如何デス

○司法省參事官(山内確三郎君) 現行法ノ身分登記簿ニハ現在記載ラシツ、アルモノト、ツレカラスカリ記載ラ終テ閉鎖シタモノトアル、現在毎日記入致シツ、アル身分登記簿ハ、是ハ裁判所ノ外へ持出スコトハ出來ヌ、記載ラ終テ閉鎖シタモノトケハ持出スコトヲ許サレタル、戸籍簿ハ是ハ全ク持出スコトガ出來ナイト云フノハ、毎日毎日記入シテ行カケレバナラヌ、ツレデツレハ持出スコトガ出來ナイト云フコトニナル、戸籍簿ニハ閉鎖シタモノト云フモノハナイノデ、總テ現ニ使ツテ居ルモノデスカラ、ツレラノモノヲ持出スコトハ出來ナイ、是ハ現行法モ確カサウナツテ居ッタ思ヒマス

○法學博士鵜澤總明君 第九條ハ現行法ト違フ譯デセウカ、或ハ同ジデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 文字ハ變テ居リマスガ、趣意ハ變ラヌ積リデアリマス、現行法ニ於テモヤリ戸主ヲ本トシテ、一戸毎ニ一本ヲ作ルト云フコトニナツテ居リマス、唯戸主ヲ本トシテ云フ文字ハ入レマシタケレドモ、趣意ニ於テハ變テ居ラヌ積リデアリマス

○法學博士鵜澤總明君 ツレカラ現行法ニハ之ヲ編成ストアリマスガ、一戸毎ニ之ヲ作ルト云フヤウニ文字ヲ改メテアリマス、是ハ何カ理由ガアリマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ツレハ文字論デアリマスガ、編成ト云フ言葉ハ如何ニモ餘リ仰々シト云フ譯カラ、作ルト云フコトニ變ヘタノデアリマス

○島田俊雄君 第十四條デスカ、第二項ニ手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ贈本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得ト云フコトニナツテ居リマス、此場合ニハ手續ノコトデアリマスガ、郵送料ト云フコトニ付テハヤリ適當ノ收入ノ手續ヲシタルノデスカ、ドウ云フコトニナルノデス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 是ハ手續法デ施行法デ精シク定メル積リデスカ、ツマリ郵送料ヲ納付スルトキニ、郵便切手カ何カ郵送サセテ取ル積リデスカ

○島田俊雄君 其郵便切手カ何カニ付テ收入ノ手續ヲセラル、積リデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ツレハ施行細則ニ書ク積リデスカ

○加瀬禮逸君 私ハ先刻ノ鵜澤サシノ御尋ニ付テ思出シタデスカ、第九條ハ現行法ノ百七十條ニ當ルデスカ、百七十條ノ第二項ヲ御削リニナリマシタ理由ヲ伺ヒタイ、終ノ方ノ條文ニサウ云フ規定ガアルカ知レマセヌガ、日本ノ國籍ヲ有セザル者ハ本籍ヲ定ムルコトヲ得ズト云フコトガ現行法ノ二項ニアリマス、之ヲ御削リニナリマシタノハドウ云フ趣意デアリマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 外國人が日本ニ本籍ヲ定ムルコトヲ得ズト云フ項ヲ削ツタト云フ次第第九條ノ一項デ分ル、ト云フノハ戸主ヲ本トシテト云フ文字ガアレバ、モハヤ外國人ト云フコトハ削ツテモ宜カラウ、ノミナラズ此事ハ實ハ當然デアル、加ヘテ戸主ト云フ文字ガアルカラ、此際削ラウト云フダケノ趣意デアリマス

○加瀬禮逸君 ツレカラ十一條ノ場合ハ現行法ノ二十九條ノ二項三項ニ書イテアリマス、此規定ヲ取ツタノハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 三十九條ハ身分登記ノ規定デアリマシテ、身分登記ニハ成程欄外登記ヲシタモノハ又更ニ後カラ入レルト云フ規定ガアリマスガ、戸籍ノ方ハツレガ要ラナイト云フノデ有リマシタ

○齋藤隆夫君 此第十四條ノ第三項ニ「市町村長ハ正當ノ理由アル場合ニ限り前二項ノ請求ヲ拒ムコトヲ得」ト云フ規定ガアリマス、此正當ノ理由ト云フノハドウ云フ理由デスカ、又第十五條ノ「又ハ滅失ノ虞アルトキハ司法大臣ハ」云々ト云フコトガアリマスガ、滅失ノ虞アリト云フノハドウ云フ場合デアリマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 正當ノ理由ト云フモノハ其一二例ヲ申シマス、無暗ニ人ノ戸籍ヲ閱覽シタリ、或ハ謄本抄本ヲ取ツテ名譽毀損ノ材料ニスル、強請ノ種子ニスルトカ、或ハ市町村長ヲ困ラセルタメニ町村全部ノ戸籍ヲ謄本ヲ與レトカ云フヤウナコト、ツレガ謂レガアレバ格別デアリマスガ、市町村ノ事務ヲ繁忙ナラシメテ、戸籍事務ニ妨害ヲ來スト認メラル、モノガ其例デアリマス、滅失ノ虞ト云フノハ、蟲ガ喰フトカ、手垢ガ着イテ分ラヌヤウニナル場合ガアリマス、ツレ等デゴザイマス

○委員長(長島鷲太郎君) 先程第九條ノ鵜澤君ノ質問ノコトデスカ、舊法ノ第二項ニ關シテ居ルコトデ、戸主ヲ本トスルカラ是ハ要ラヌト云フノデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ツレハヤリ要ルマイト思フノデスカ、ト云フノハ外國人が日本ニ戸籍ヲ持ツト云フコトハナイカラ……

○大口喜六君 第十條ニ「戸籍ハ地番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編綴シテ帳簿ト爲ス」トアツテ、舊法デモ此通りニナツテ居リマスガ、是ハ古カラ屋敷番號ヲ用ヒテ居ル所ガアツテ、戸籍法ヲ改正サレテモ舊來ノ儘デ宜イト云フコトニナツテ居ルタメニ、全國ニ今以テ屋敷番號ノ儘戸籍ヲ作成シテマスガ、此本法ガ實施サレタ曉ニハ、斯ノ如キモノハ悉ク地番號ニ書直スト云フ方針デアリマスガ、或ハ附則ノ百八十四條ノ第一項ニ依リマシテ「舊法ノ規定ニ依ル戸籍ハ本法ノ規定ニ依ル戸籍トシテ其效力ヲ有ス」云々トアリマスカラ、古キ儘デ宜イトデアリマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 新シク今作り直スコトニナリマス、非常ニ金モ掛リマスカラ、百八十四條ニ依リマシテ現在ノ戸籍ハ其儘ニシテ置ク積リデゴザイマス、今後戸籍簿ヲ編成スルニハ地番號ニ依ツテスル……

○大口喜六君 第十七條デスカ、除籍簿ノ方ハ能ク分リマシタガ「及ヒ除カレタル戸籍」ト云フノハドウ云フ譯ニナリマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 除籍簿ニ綴リマスルニハ一家全體ヲ除カナケレバナラヌノデ、是ハイロ／＼多ク除籍サレタモノガ綴合ツテ簿冊ニナル、除カレタ戸籍ハ一冊ニ綴リ込メテ居ル、其簿冊中ニハ幾ツカノ除カレタル戸籍ガアル、其者ノ各個ヲ云フノデアリマス

○法學博士鵜澤總明君 是ハ文字ノコトデ意見デハアリマセヌガ、第十五條ニ「司法大臣ハ其再製又ハ」云々トアリマシテ、戸籍ノ滅失ノ時ハ再ヒ製スルト云フ文字ヲ使ツテ居リマス、第九條ノ方デハ「之ヲ作ル」トアル、第十二條ニモ「新タニ戸籍ヲ作ル」斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、再ヒ作ルトキニハ「製」ト云フ字ヲ用ヒ、始メテ作ル場合ニハ「作」ト云フ字ヲ使ツテ居ル、是ハ何カ深い意味ガアリマスガ、ドウモ文字ガ統一シテ居ラヌヤウデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 簿冊ノ方デアリマス、所謂簿冊デアリマスカラ、厚カラウト思ヒマスノデ「製」ノ字ヲ用ヒ、一個ノ戸籍デアノ「製」ト云フ字デ仰々

シク言ハヌデモ「作ル」テ宜カラウト云フ意味デアリマス

○法學博士鵜澤總明君　モウ一ツ伺ヒマス、戸籍ヲ作ルコトハ總テ届出ニ依テ作ルト云フ趣意デアリマセウガ、或ハ届出以外ニ別ニ市町村長ノ職權トシテ作ル場合ガアリマスカ

○政府委員（法學博士鈴木喜三郎君）　戸籍ヲ作ルト云フ場合ハ二十二條等ニ依テ作ルデアリマスカラ、届出モゴザイマス、申請モゴザイマス、或ハ請求モゴザイマス

○法學博士鵜澤總明君　サウスルト總テ届出申請又ハ請求ト云フコトニナッテ居ッテ、要スルニ當事者カラ戸籍ノ事項ヲ市町村長ニ知ラセシメル手續ガアッテ、然ル後ニ作ルト云フコトニナルノデスカ

○政府委員（法學博士鈴木喜三郎君）　サウデス

○光森徳治君　此ノ戸籍番ハ地番デ統一スルト云フコトデアリマスガ、例ヘバ麴町一丁目ナラ一丁目何番地ト云フテモチヨット分リ惡イデアリマスガ、ソレデドウ云フ風ニズット一番カラ何千番マデモ地番號デ押ヘテ行クコトニナリマスカ

○政府委員（法學博士鈴木喜三郎君）　チヨット了解シカネマシタガ、一番地ノ中ニ戸籍ト云フモノハ幾ッモ出來ヤウト思フ、有形ノ建物トハ沒交渉デアリマスカラ、ソレハ一向差支ナイ積リデゴザイマス

○委員長（長島鷲太郎君）　最早時間デスカ、第三章ノ戸籍記載ノ點ハ貴重ノ點デアリマスカラ此次ニ……

○齋藤隆夫君　議事ノ進行ニ關シテ——斯ウ云フ具合ニ十時ニ始マッテ十二時ニ終ルトナカク濟マヌノデスカラ、本會ノナイ日ニ於テ午後一時カラヤッテ貰フコトニシテハ如何デスカ

○委員長（長島鷲太郎君）　此次カラサウ云フコトニ致シマセウ、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時一分散會

大正三年三月二日印刷

大正三年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局